

中干しを徹底して**根の活力を維持**！ 出穂は**平年並～やや早い見込み**。穂肥は遅れずに**適量**を！

●表1 生育状況（6月25日現在）

品種 移植/直播	場所	年次	移植時期	6/20土壤中残存 アンモニア態窒素 (mg/100g)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SOAD)
はえぬき 移植	鶴岡市矢馳	本年	5月15日	4.2	43.6	636	9.4	42.5
		平年	5月16日	5.4	39.4	593	8.9	39.7
		平年比・差	-1	-1.2	111	0.5	2.8	
つや姫 移植	鶴岡市上清水	本年	5月12日	3.2	46.9	493	9.2	41.6
		平年	5月13日	3.5	41.2	510	8.9	40.2
		平年比・差	-1	-0.3	114	0.4	1.4	
雪若丸 移植	鶴岡市長沼	本年	5月12日	2.5	40.0	756	9.6	45.0
		平年	5月13日	5.5	37.0	634	9.0	44.7
		平年比・差	-1	-3.0	108	0.7	0.3	

※前年・平年は6/20と6/30の調査データからの推定値 平年：2019～2023年の5か年平均

*:「雪若丸」の土壤中残存アンモニア態窒素の平年は2020～2023年の4か年平均

●表2 【「スマートつや姫適期作業カレンダー」による出穂の予測】

移植時期	6月25日時点 葉数(葉)	予測出穂期		
		はえぬき	雪若丸	つや姫
5月5日	9.5	7月27日	7月26日	8月6日
5月12日	9.2	7月31日	7月30日	8月7日
5月19日	8.6	8月4日	8月3日	8月11日

注) モデルは庄内平坦(鶴岡市藤島)、移植時苗の葉数は2.5葉。移植～6/30までの葉数展開は品種による差がほぼないので品種共通(つや姫基準)

◎各自、「スマートつや姫適期作業カレンダー」で、圃場毎の出穂予測を確認すること。

●品種ごとの穂肥診断の方法

1. はえぬき

- 出穂25日前(今年は7/5～10頃)、窒素成分1.5～2.0kg/10aを基本とする。
- 10.4葉期(今年は7/5頃)に診断を行い、穂肥の量と時期を決定(図1)。
- 茎数700本/m²以上、又は葉色(SPAD値)40以上であれば**生育過剰**。いずれかの場合は、穂肥量を窒素成分1.0kg/10aに減らし、両方に該当している場合は、穂肥を行わない。

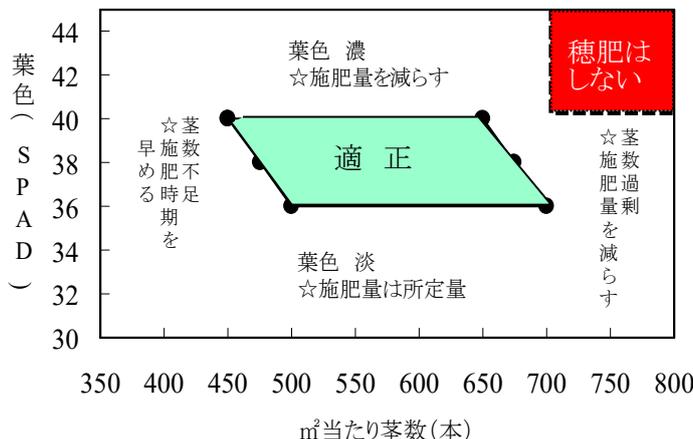


図1 はえぬきの7/5頃の茎数・葉色による診断と穂肥対応(R6の出穂期を想定)

表3 茎数・葉色早見表

m ² 当たり 茎数(本)	株当たり茎数(本)	
	60株植/坪	70株植/坪
700本/m ²	38	33
450本/m ²	25	21

葉色(SPAD)	葉色(葉色板)
40.0	5.0
36.0	4.6

2. つや姫

- 穂肥は出穂 30 日前（今年 7/7～10 頃）が基本。
- 7/7 頃に生育診断を行い、生育に合わせて穂肥を実施！（図 2）。

- ① 茎数 600 本/㎡以下かつ葉色 39 以下
⇒出穂 30 日前に窒素成分 1.5kg/10a を施用
- ② 茎数 600～650 本/㎡、又は、葉色 39～41
⇒窒素成分 1.0kg/10a 以下に減肥
- ③ 茎数 650 本/㎡以上、又は、葉色 41 以上
⇒出穂前 25 日頃まで葉色が低下したら、
窒素成分 1.0kg/10a 以下に減肥
※葉色が低下しない場合は、穂肥を行わない

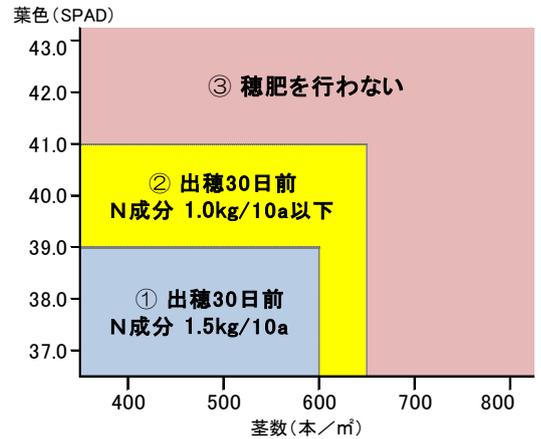


図2 つや姫の 7/7～10 の茎数・葉色による診断と穂肥対応 (R6の出穂期を想定)

3. 雪若丸

- 6 月 30 日頃の生育量に基づき、穂肥の時期・量を調整する（下表参照）。
- 生育が適正範囲の場合は、**出穂 25 日前に窒素成分 1.5kg/10a** を施用する。

表 4 生育量別の穂肥の目安

生育量	茎数		葉色 (SPAD)	施用時期と窒素分量
	坪 70 株	坪 60 株		
生育不足	26 本/株未満	31 本/株未満	40 未満	出穂 30 日前、1.5kg/10a
適正	26～35 本/株	31～41 本/株	40～44	出穂 25 日前、1.5kg/10a
生育過剰	35 本/株以上	41 本/株以上	44 以上	出穂 25 日前、1.0kg/10a

※地力の低い圃場では窒素成分 2.0kg/10a を上限として、早目に追肥する。
 ※穂肥前に補完追肥を行った場合は、補完追肥した量を、穂肥の量から減肥する。
 ※基肥、補完追肥、穂肥の合計量は、窒素成分 8kg/10a 以内とする。

4. ひとめぼれ

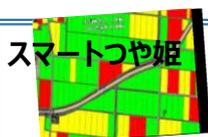
- 穂肥の時期と量は、地力に応じて調整する（表 5）。
- 出穂 20 日前（今年 7/11 頃）の生育を確認し、穂肥診断を行う（表 6）。
- 出穂 30～35 日前（同 6/26～7/1）の草丈+30cm、出穂 20～25 日前（同 7/6～11）の草丈+15～20cm が稈長の目安となる。稈長が 82cm 以上で倒伏程度が高まるので、これを目安として対応する。

表 5 ひとめぼれの基本的な穂肥体系 (表中の数字は窒素施肥量 (kg N/10a))

	幼穂形成期 (-20 日)	穂孕期 (-10 日)
地力高	1.0～1.5	—
地力中	1.0～1.5	0.5

表 6 ひとめぼれの出穂 20 日前（今年 7/11 頃）の倒伏診断と穂肥対応

7/11 頃 (R6) の生育		穂肥診断
草丈	葉色 (SPAD)	
66cm 未満	40 未満	基本どおりとする
	40 以上	葉色が低下した後に穂肥する
66cm 以上	40 未満	減肥する
	40 以上	穂肥を行わない

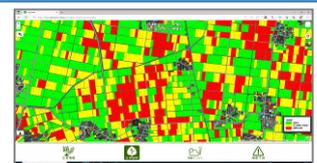


つや姫『穂肥診断マップ』 7 月初旬更新！

はえぬき・雪若丸の穂肥診断マップも同時更新予定

『スマートつや姫』を活用して適期・適量の穂肥！

※詳しくは、農業技術普及課にお問い合わせください。



スマートつや姫の「穂肥診断マップ」